

# 櫻だより



氷見市立北部中学校

校長室から

令和5年4月25日

## ほどよい加減

櫻だより？ ソメイヨシノから八重桜へと続いてきた桜のリレーも終盤に近付いてきた今頃？  
まあ、私が普段考えていることの振り返り（アウトプット）の場です。  
不定期に発行されます。参考にできる部分があれば活用ください。

さて、いつも年度当初に思うこと、それは「やりたい」と「やらねば」のバランス。  
「やりたい（will）」ことだけできれば、人生は楽しいかもしれない。  
でも、やりたいことだけで仕事と生活が成立するほど人生は甘くはない。  
「やらねば（must）」ならないことは、たくさんある。特にこの年度当初は must だらけ。  
must に追いかけられ、must で頭が支配されてしまうと心が折れそうになる。

モチベーションとは、will と must と can（やれそう）の掛け算で決まると教わった。  
一つでも「0」があると、モチベーションも「0」になってしまう。  
やっぱり、will を大切に、must の中にも will を見付けていきたい。  
といっても、処理しきれない must が重なってくる時期もある。  
そんな時、大事なのは HELP! と言い合える職場かどうか。  
弱音も言い合い、助け合っていける職場をつくっていききたいものです。

さてさて、校長室のパキラとシクラメンを少し紹介します。  
パキラ（写真右）は昨年6月に購入。

新しい葉が数枚出てきた後、9月からは成長が見えず。

「もう新しい葉は出ないのかな」と思っていたら、春になり、  
新芽が4本も。新入生のような若々しさが嬉しいですね。

自宅でパキラを育てたときは、水を与えすぎて根腐れになった。

休日ほったらかしのいい加減な育て方が、よい加減になったのかもしれない。



シクラメンは、昨年12月上旬に購入。今も花が咲いている。葉っぱも元気。  
過去に何度かシクラメンを購入したけど、こんなに長く花が咲いたことはない。  
昨年同時期に自宅用に購入したシクラメンは、年明けには枯れてしまった。  
校長室のちょっと寒い温度と、やはり世話をしない環境がシクラメンには丁度よいらしい。

植物と子供は違うけど、いい加減だと思った育て方が、よい加減になる場合もある。  
「こう育てなくては（must）」と、愛情（水）のかけ過ぎがプレッシャー（根腐れ）になる場合も。  
大事なものは、生命力や伸びる力を信じて、見守り、少しずつ刺激を与えることでしょうか。

will と must のバランス、与える（教える）ことと見守ることのバランス。

どちらも「ほどよい加減」というのは難しいと改めて思う。

「いい加減は簡単だが、良い加減は難しいものだ」 孔子

孔子ですら難しいと感じたことですが、ほどよい加減を見付けていきたいですね。